

総 会 発 言

参院選で政権交代の 足がかりを

全国世話人・参議院議員



大門みきしさん

国会情勢報告を兼ねて発言します。総選挙では、野党の共通政策に「消費税減税」が掲げられ、政権交代をめざしましたが実現できず、お詫びします。消費税減税・廃止は権力との一番きびしいたたかいです。

岸田政権は、強いものがより強く、国民には自己責任を強いる新自由主義の政治で大企業のもうけを増やしています。事実、32年間で消費税収は448兆円になります。これは法人税と所得税減税の穴埋めに使われま

率の是正」がすすめられたのです。金融マネーの「一億円の壁」

についても岸田首相も一旦は言及しましたが、財界の圧力で引っ込めました。このことは、2007年に私が「1億円を超える」と負担率が下がる」要因が証券優遇税制で当時10%と追及、以後共産党の議員が繰り返し、質問するなかで20%になりました。当面ヨーロッパ並みの30%を求めています。

昨日、なくす会から「消費税減税法案を共同提出して」との要請を受けました。その要求実現のためにも市民と心ある野党が共闘を強め、参院選で政権交代の足がかりをつくるために全力を尽くします。

今こそ消費税減税実現 運動が必要

東京・六郷の会 向井初江さん

毎月宣伝のあとは、街の声を入れたチラシを「生活と健康守



る会新聞」と「赤旗日曜版」に折りこんでいます。11月14日の宣

伝では22人の参加で、各政党の政策をのせたチラシを配りました。「自民党が過半数でがっかりした。でも甘利自民党幹事長を落としたからまあ良かった。いつも応援しているよ」といった声もあり「自公政治を変えるためには野党共闘しかありません」というと署名してくれました。

野党共闘の比例票も議席も増やしました。次は、消費税減税をかかげている政党に、まず「消費税5%」実現のために協力するように働きかけたいと思います。

憲法9条が変えられようとする中、消費税をなくすことは戦争への道をストップさせることにつながると思います。学習交流しながら、みんなで声を上げ、宣伝しその声を署名に集めましょう。

消費税増税、新型コロナ被災による未曾有の経済危機打開の決め手は、悪魔の消費税のゼロ税率、少なくとも5%の減税で。

税理士 深川 加代

〒173-0004 東京都板橋区板橋

一四七一一五
〇〇三(五三七五) 四一〇七

まず、5%に戻せ！
消費税はなくしましょう。

消費税をなくす増本ファミリーの会

〒248-0035 鎌倉市西鎌倉一三三三

増本 一彦 菅原 正子
増本 敏子 菅原 千夏

税理士 アルファ 税務会計

野坂 誠史
中山 直子
土屋 竜一
濱村 強
〒211-0063 川崎市中原区小杉町一五二九
ビュアー小杉1F

衰退途上国の日本を
救う道は消費税0%のみ



税理士 山本 大志

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内
三二二一一〇

県議会に県民の苦しみを届けて

福島県の会 服部 雅さん



原発事故から11年。未だに故郷に帰れない被災者は7万人

と言われています。現在、国が汚染水の海洋放出を一方的に決めたことに、地元の漁業者から「10年の苦勞が水の泡になる」と激しい怒りに包まれています。原告団4000人の生業裁判は国と東電を断罪する最高裁の勝利判決を勝ち取るためがんばっています。

2度にわたる消費税増税とコロナ禍で地域経済の落ち込みが激しく、老舗デパートの倒産、飲食店の休業・閉店が相次いでいます。福島県の会を中心に毎月街宣署名を実施し、団体訪問や懇談をしてきました。商工会議所や中小企業団体中央会、商工会連合会、建設業協会、老人

クラブは継続して訪問し消費税の本質やインボイスの懸念など理解が深まりつつあります。「いまの自公政権はこんな困っているのに何もしてくれない」という県民の怒りを県議会へ届ける請願行動を重視し、12月議会にも行く予定です。

県市町村議会の意見書あげて

高知県の会 金子陽子さん



県の会では毎月1回世話人会議で話し合い、

党と協力し日曜市宣伝と各界連の署名行動に参加しています。この2つの行動は、地域の人々のくらしや消費税に関する考え方などよくわかり、私たちの行動の指針にもなっています。消費税が大企業の減税や軍事費になっていくことを、もっと短時間で分かりやすく話せるよ

うにならなければと思います。

「消費税増税反対」の国への意見書は20県市町村議会であげています。コロナ禍などでくらしは大変になっている情勢を視野に、共産党以外の党派にも働きかけて、消費税を上げるなどという要請書にしようということになりました。そんな中『ノー消費税』12月号に載ったあの町議会の経緯は学ぶべきものがあります。政府が変われば、国民の声が通り、自分たちのくらしがよくなります。明日に向かってがんばりましょう。

役員会・ニュース・会報 拡大にこだわる

兵庫の会 富士谷香恵子さん



兵庫の会はコロナ禍のもと、毎月常任世話人会を開催、ニュー

スも毎月発行しています。宣伝署名行動は1年間で6地域、62

富山中央法律事務所

〒930-0074 富山市堀端町一十二
☎〇七六一四二二二四六六

黒部事務所

☎〇七六五一三三三四五四四

位田会計事務所

税理士 位田 真

〒510-0944 四日市市笹川一五一一十五
☎〇五九(三三二) 六四一一

中央会計税理士法人

税理士 山本 匡人

〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋一―五―一七
心斎橋アサノビル三階
☎〇六(六二四五) 六三二五
FAX〇六(六二四五) 六三二六

税金は平和で豊かな暮らしのために税金は応能負担原則にもとづいて

清家税理士事務所

〒572-0025 大阪市東成区中道三―十五―十六
☎〇六(六九七) 一一二二三

消費税は廃止し、税金は応能負担にもとづいて

税理士 京阪。パートナーズ

〒572-0084 大阪府寝屋川市香里南之町二八番二四号
トイカンパニョー香里園駅前二〇号
☎〇七二(八三三) 二八一一

回359人参加で933人分の署名を集めました。会報「ノー消費税」は42部増やし29部減で普及にこだわりました。11月20日、兵庫の会の総会を開催し「インボイス制度」の学習もを行いました。11月の垂水区の宣伝は、10人が参加、41人から署名を集めました。30代の青年は「商売をしているが、もうつぶれそう。消費税は減税してほしい」と深刻な声が寄せられました。なくす会の活動は、国民のくらし、営業を守り、景気を良くする闘いです。なくす会を強く大きくする草の根からの活動が政治を変える力になると確信します。消費税5%実現・廃止をめぐりがんばります。

消費税減税が市民と野党の共通政策に感動

常任世話人 梅村さえ子さん

全国の会の常任世話人として国会に戻り消費税減税を実現す



る、その思いで10月の総選挙で北関東比例候補としてたたか

ましたが、議席に届きませんでした。雪辱を果たすため、来年の参議院選挙に埼玉選挙区より立候補します。市民と野党の共闘を終わりにするわけにはいきません。「共通政策・政権協力・選挙協力」を結びたかった総選挙は歴史を大きく前にすすめた選挙でした。「共通政策」に消費税減税が入った時には、体が震えました。1989年の消費税強行の翌年に、個人加盟の消費税をなくす会をつくった日を忘れません。この32年の消費税をなくす会の運動が、今回の「共通政策」に消費税減税を入れさせる力になったことは間違いないです。この総会は、消費税減税・廃止する政治の流れへと大きく切り替える総会として、私も草の根からいっそう声を上げていきます。

宣伝を重視、心がける4点

京都の会 藤田 洋さん



「ノー消費税」の拡大は、前総会以後30人増やし減は4人でした。3年前の到達の倍です。京都の会が重視するのは消費税減税の宣伝です。場所を変えて14回行い145人の参加でした。心がけている4点は、①常任世話人会で決めた会場をその地域の組織に「一緒に宣伝行動をしましょう」と呼びかけ、地域の会と対話する機会としています。②会場周辺の下見です。商店街などの役員に挨拶し、「消費税減税のご意見を聞いています」と訪問。地域の状況を聞く貴重な時間です。③消費税減税の情勢を伝えることです。マスコミは、政府報道に偏り正確ではありません。宣伝ポイントは、経済弱者の目線から訴えます。④市民を激励する宣伝です。そして「5%

税をなくす会の運動が、今回の「共通政策」に消費税減税を入れさせる力になったことは間違いないです。この総会は、消費税減税・廃止する政治の流れへと大きく切り替える総会として、私も草の根からいっそう声を上げていきます。



<p>税金は平和で豊かな暮らしのために税金は応能負担原則にもとづいて</p> <p>大阪総合会計事務所</p> <p>所長・税理士 竹内 克謙</p> <p>〒541-0043 大阪府中央区高麗橋二丁目七番〇六(六二〇二) 九三五一</p>	<p>中小企業家のための税金相談</p> <p>神戸共同経理事務所</p> <p>〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目七番一五〇二</p> <p>☎〇七八(三六六) 六〇五二 FAX〇七八(三三六) 六九九三</p>	<p>税理士法人総合会計</p> <p>代表社員・税理士 中村 聡</p> <p>税理士 金巨 功</p> <p>税理士 島瀬英幸</p> <p>〒754-0002 山口県山口市東郷二丁目二五番一六〇一</p> <p>☎〇八三(九七三) 八三三六</p>	<p>消費税ノー！</p> <p>税理士 第一経営共同経理事務所</p> <p>代表社員 税理士 田中 芳幸</p> <p>社員 税理士 荒尾壽味雄</p> <p>〒861-1305 菊池市北宮三丁目一五番〇九六八(二五) 一〇三六</p>
---	--	---	--

憲法が求める税負担は 応能負担が原則

世話人・税理士 浦野 広明さん



消費税にかわる財源は応能負担を原則とし、法人税、所得税

を累進課税化していくべきです。

「連結納税制度」など、5種類の租税特別措置法で、優遇される税制により、資本金10億円以上の大企業の20年度の内部留保は、466・8兆円と過去最高額を更新。

中小企業の法人3税の負担率35・7%に対し、トヨタは15・3%、ソフトバンクは0%です。消費税は事業者が納税しますが、トヨタは輸出上の消費税が0%のため、国内売上の消費税3293億円、課税仕入れに対する消費税が9049億円、納税額は▼6116億円となり、6116億円が還付され、トヨタは輸出売上が増えるほど還付

金で得します。

憲法が示す税負担の原則は、各人が経済的な負担能力に応じる応能負担で、国税、地方税、社会保険料等は全て応能負担原則とし、使途原則は「生存権保障」の目的税にあります。

課税の中心は所得課税であり、住民税を総合累進所得課税にすれば5兆8587億円の財源が生まれ、2021年度予算の消費税収20兆2840億円がなくても財源があることは明らかです。

運動ひろげ 市民と一緒の活動を

三重の会 大川 博さん



11月28日に三重の会の総会と学習会を開催しました。1年間

の活動では、県議会と2つの市に請願書を出しました。県は最大会派が立憲民主党などですが、地方消費税が減るからと賛成し

てもらえませんでした。桑名市には3月に請願して否決されましたが、12月議会に市民の方10人が消費税減税の陳情書を出したことがわかり、もつと運動を広げれば、これまで面識のなかった人たちとも一緒に運動できると思いました。

三重の会は毎月街頭宣伝・署名行動を行い、2万5424人分を集めました。その97%は正面から署名を働きかけた三重県生協連の集約でした。総会後は県常任世話人の税理士によるインボイス学習会が行われ、この制度が実施されたら大変だということがわかりました。来年の参議院選挙で消費税減税とインボイス制度中止を求めて奮闘する決意です。

改憲勢力に三百倍返しの 奮闘を決意

北海道の会 富堂 保則さん

北海道では道内179の自治



体に「インボイス制度導入中止を求める意見書」採択の要請

を行いました。札幌市議会では、継続審議となっています。さらに、全道の民商が中心となって「インボイス学習会」を開催。札幌民商が10月に行った学習会では「商売はどうしたらよいのか」「何から対策をしたらいいのか」「わからない」と困惑する会員がほとんどでした。「一番の景気回復は消費税をなくすこと。税率を0%にする事はコストもかからず、レジの入れ替えも必要なく、国会で決めれば明日からでも実施できる」と強調すると、ほとんどの方が議員が納得。その財源は大企業と富裕層に自分の負担をしてもらうことで賄えると説明。

コロナ禍のなか「なくす会」の運動が多くの中小業者・国民から求められていると実感。憲法を全面実践し国民生活を守るため、参議院選挙では改憲勢力

に「三百倍返し」で奮闘する決意です。

インボイス制度は地域経済を崩壊

岩手の会 藤村敬吾さん



総選挙が終わった直後は大変悔しい思いをしましたが、こ

れからの運動に結びつく、これまでにない多くの学生や若い人たちの応援が特徴的だったと思います。同時に若者の中に消費税が減税されれば社会保障の引き下げにつながると思い込んでいる人も多く、私達の運動の立ち後れを反省しました。花巻税務署の管内では商工業、農業1万2千事業所の約4割が年間売上1千万円未満の免税業者ですが、赤字でも消費税を納めなければならなくなるといふことで、消費税の課税業者になるかどうか迷っています。

インボイス制度は地域経済を崩壊の淵においやるものといえます。岩手の会は遅れている会報の拡大と今後の「会づくり」について、総会を開いて話し合い、課題を追求し、参議院選挙に向けて、全国の会が提起している「200万人会員と会報読者1万人」に込めて、微力ながら奮闘します。

100歳まで生きて消費税廃止を

埼玉・深谷の会 内川幸一さん



私は誰でもできる・消費税なくす・戦争なくす・核兵器なくす活動をしています。2年前に手術をし、そのあとリハビリをして、やっと昨年4月7日から今日まで「消費税5%減税」の旗をかかげて歩いています。車の通りでは200台から300台に宣伝しています。埼玉なく

す会では商店街宣伝をしています。足も大分よくなつて、100歳まで生きようとみなさんにも呼びかけています。なんとしても消費税をなくすため頑張りたい。私は100歳まで14年しか残っていません。私が生きていく間に消費税を廃止、戦争法を廃止し、核兵器禁止条約に賛成する政府を実現するためにどうすればよいか考え行動に取り組んでおります。それは「ノボリ旗」を振りかざして足を高くして歩くことです。

消費税を一日も早く終わりに

静岡県民の会 松内是卓さん



毎日生活相談にあけてくれています。相談に来る方は自己責任

論のおしつけと無力感に陥っていますので、解決のために本人と一緒に行動します。あらゆる役

所から法律事務所、親族会議から買物まで立ち合います。そこまでしないと孤立した本人はすぐ負けてしまいます。メディアは深刻な実態を描いても、その原因を映し出していません。本人の孤立から助けるといふことと、消費税とはなにかをしつかり語ることはますます大事です。いま世界の多くの国が消費税減税にふみだした中で、日本がいかに非常識な国かわかります。10年前は自民と民主で消費税10%を競い合っていた時代でした。10%にしたらこれは大変ということが分かってきて野党のすべてが減税といい始めています。消費税は一日も早く終わらせようと語り続けていきましょう。

消費税減税と基地なくせの運動を

沖縄県の会 山城正雄さん

はじめに報告したいことは、このたびの総選挙で沖縄の小選



挙区で日本共産党の候補者が3度目の勝利をしたことです。

20数年前、私は消費税が5%に引き上げられたときに、なくす会の旗をかかげて、6時から8時まで手ふりで、8時から40分間演説で反対し続け、朝から晩まで演説しました。沖縄は山、海、自然の森や川が豊かです。青野菜は年2回、コメも2回とれる。この宝の島に基地はいりません。アメリカは200年先まで利用する基地を、と言っています。とんでもありません。消費税5%へ、と基地なくせの運動を合わせて継続していきましょう。

■憲法に立ち返って 消費税を考える

千葉、柏の会 長谷川 巖さん
柏の会は、「会」を立ち上げて30年になります。毎月、柏駅前
で24日宣伝を続けています。各



界連10団体のみなさんとともに、柏の会を中心としたメンバーとして

活動しています。通行人から「生活が苦しい」「食費がたいへん」「家賃が高い」「消費税はなくしてほしい」などの声が寄せられます。「ノー消費税」の読者は90人です。読者拡大の努力をしました。読者は主権者である国民に重い負担を課していません。憲法25条に反する税金です。社会保障のためではありません。今、改めて憲法の精神に立ち返って消費税を考えることが大事だと痛感します。11月26日に柏の会総会を開き25人が参加しました。コロナ禍でも学習を重視しています。

■神奈川建設労連の「会」の活動

神奈川の会 鈴木 祐次さん
建設労働組合で税対部長をし



ています。建設労連の中に「なくす会」をつくりました。19

年10月に税率10%に増税されてから「5%への引き下げとインボイス中止」の署名に取り組んでいます。

建設業は、重層下請け構造と言われる産業のため、消費税がそもそも転嫁できない事業者がたくさんいます。現在、非課税業者でもインボイスが導入されれば上受け（発注先）からインボイスを求められ、これに因應しなければ年間1千万円以下の売上でも取り引きを停止されます。または消費税分の値引きを迫られるなど、大きな負担に苦しめられます。税率引下げとインボイス中止は死活問題です。現在約3万人の署名が集まっています。常国会に提出します。なくす会の会員増やしにも取り組んでいます。

第32回総会の成功を祝し メッセージを寄せていただいた団体・組合

全日本年金者組合／日本国家公務員労働組合連合会／全国生活と健康を守る会連合会／全日本教職員組合／平和・民主・革新の日本をめざす全国の会／国土交通労働組合／日本婦人団体連合会／日本医療労働組合連合会／日本民主青年同盟中央委員会／労働者教育協会／全国保険団体連合会／全日本民主医療機関連合会／非核の政府を求める会／全日本建設交運一般労働組合／第66回日本母親大会実行委員会／婦人民主クラブ／日本中国友好協会／農民運動全国連合会／新日本婦人の会

発言のまとめ

前沢 淑子 事務局長
参加者は会場に51人、オンラインで33カ所51人の102人。18人が発言、東京から文書発言2人と提案が深められました。東京・

大田六郷の会からは総選挙の結果でがっかりしたけれど、地域に打って出ると私たちの活動が大きな励みになっていいることを実感したと発言されました。

全国の会は衆議院選挙で減税を公約した6党に「公約実践を」を要請。地元選出の議員や政党事務所に要請しましょう。三重の会から市民が消費税減税の陳情をしたとの報告。京都や大阪の会は事前調査で地域の声

総会で選出された常任世話人

(五十音順 敬称略)

- | | |
|--------------|-------|
| 家子 寿 | 上野美知代 |
| 梅村さえこ | 大川 博 |
| 大嶋 秀夫 | 木口 力 |
| さしの知子 | 手塚 守夫 |
| 西本 光男 | 服部 雅 |
| 林 幸二 | 藤原 紀嘉 |
| 前沢 淑子 (事務局長) | |
| 牧野 由子 | 松田 周平 |
| 向井 初江 (新) | 渡辺 清志 |
- 野田智美さん 増本一彦さん

退任された常任世話人

野田智美さん 増本一彦さん

を聞いて新たな地域で宣伝行動。また、消費税あたりまえの若い世代に改めて消費税が何に使われているか、明らかにすること。大事と指摘。社会保障はほとんど改悪され、社会保障のためと導入された消費税は社会保障のために使われていないことを広げようと強調されました。会報の拡大は総会中にも報告

閉会のあいさつ

常任世話人

大嶋 秀夫さん



全国から参加のみなさん、オンラインで参加のみなさん、今日は熱心な論議をありがとうございました。どの発言も教訓に満ち、明日への元気をもらうものでした。これを力に私たちが全力で頑張っていきたいと思えます。

10年近く埼玉の会は商店街、商工会訪問を毎月行ってきまし

があり「学習に役立っている」の発言も。会報をもっと活用していただきたい。「消費税憲法変えれば戦争税」が岸田政権下で今ほどリアルに伝わってくる時はありません。参議院選挙へ向けて会の役割は重要です。「消費税減税、インボイス制度の導入中止」を2つの柱に、運動を広げましょう！

た。実感するのは個人商店がなくなっていることです。訪問するたびに「消費税10%はきつい、せめて5%に」の声が寄せられなくす会の活動に「がんばって」と激励されます。消費税は日本をダメにする税の未来はないと思えます。

今日確認し、討論で深めた方針の実践の先頭にたつて奮闘する決意です。参議院選挙では、消費税減税勢力を得票数だけでなく議席でも過半数をとるためがんばりましょう！

退任のあいさつ

常任世話人

増本一彦さん



32年前に個人加盟の消費税をなくす会をつくる提起を受け、

政治の主人公はひとりひとり、その自覚をもって発展させたいと参加。全国各地を走り回って、私たちこそ政治の主人公、税制を民主的なものに発展させていこうと語り合ってきた。

いま、市民と野党の共同で中道政党と革新政党の団結が強まり今回の総選挙で大きな一歩を踏み出した。20項目の政策の一番の目玉は生活と密着した消費税減税。その実現へ立憲野党と私たち市民の運動をもっと発展させていきたい。

常任世話人は退任しますが、地域に密着した運動を32年の経験をかして頑張っていきたい。野田さんは私の年齢の半分以下、大いに地域でがんばっていただきたい。